



2018 年 10 月 15 日
カブドットコム証券株式会社
(コード番号: 8703 東証1部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

**kabu.com APIとVR/ARの技術連携による投資情報ツールをCEATECに出展
～VR/ARテクノロジーで新しい投資スタイルの提案と、kabu.com API で多様な協業モデルを実現～**

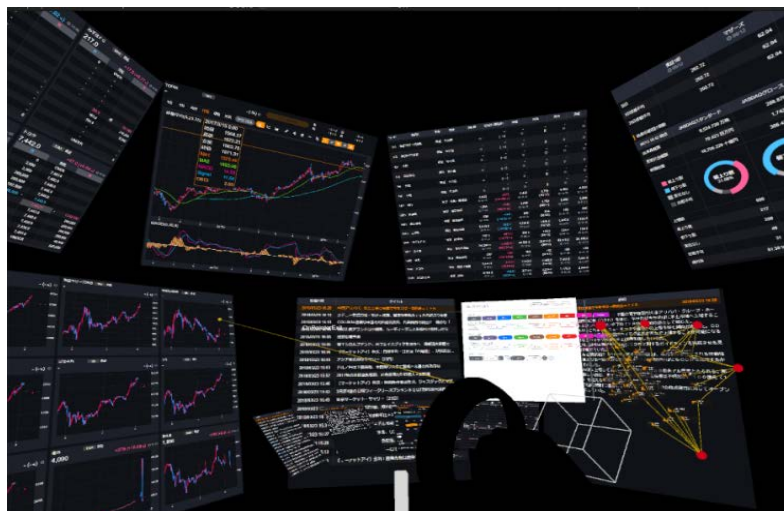
カブドットコム証券株式会社は、2018 年 10 月 16 日(火)～19 日(金)、幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されるアジア最大級の規模を誇る IT 技術とエレクトロニクスの国際展示会「CEATEC JAPAN 2018」に、kabu.com API と VR/AR テクノロジーの連携で実現した、新しい投資スタイルのコンセプトモデルとして「VR-Station」と「AR kabu-camera」を出展いたします。金融機関関係者のみならず、多くの一般来場者に当社の最新の取り組みに触れていただく機会として、CEATEC「IoT タウン」の三菱 UFJ フィナンシャル・グループのブースにてご案内してまいります。

当社は、今後も異業種間でのシナジーを追求したサービス開発をスピーディに実現する kabu.com API を活用し、KDDI 株式会社をはじめとする様々なパートナー企業との連携によるオープンイノベーションの推進により、金融サービスの高度化を実現してまいります。

● 「VR-Station」について

「VR-Station」は、kabu.com API と VR 技術の連携でスピーディな開発が実現した、仮想空間上に繰り広げられるトレーディングルームです。株価情報やチャート、板、ニュース等、株式の取引に必要な情報画面を、仮想空間と拡張空間を活用することで、限られたスペースでも物理的な制約に縛られずに表示でき、かつリアルタイムで更新いたします。

このたびの展示では、銘柄選定から発注を含めたウォークスルーを行い、ご来場のお客さまよりご意見等お伺いすることで、より利便性の高い取引ツールとするべく開発を進めて参ります。



わたしたちは MUFG です。

● 「AR kabu-camera」について

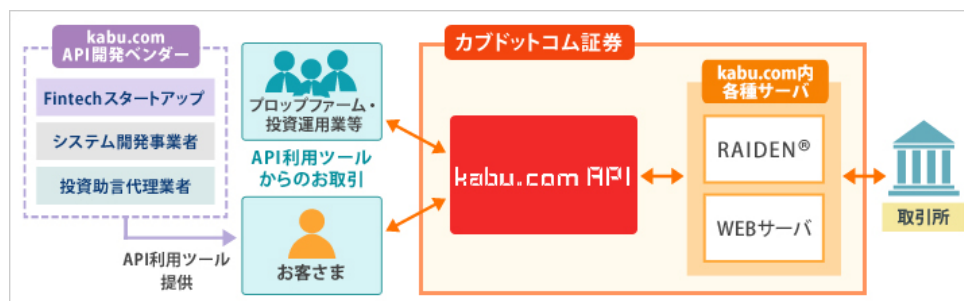
「AR kabu-camera」は、商品のパッケージをスキャンし、その商品メーカーの株価情報や株主優待情報などを AR で直感的に分かりやすいビジュアルで表示します。日常生活の中で気になった商品から、すぐに Web 上の企業の株価情報や Web 取引に遷移し、興味をもった商品からシームレスな株式取引を可能にします。

当該コンセプトモデルは、KDDI 株式会社が運営する「KDDI IoT クラウド API Market」に画像解析の API を接続予定のリコニカル株式会社と、kabu.com API を連携することでお客さまの新しい株取引体験の実現を目指します。



● 金融サービスのオープンイノベーションの推進基盤としての kabu.com API

当社は、世界的な金融サービスの構造変化・Fintech の進展の流れに先駆け、2012 年から株式・先物・オプション取引に対応した API(Application Programming Interface)環境として kabu.com API を提供しております。kabu.com API は、発注、注文照会、残高照会、リアルタイム時価情報など、従来は証券会社ツールを介さなければ得られなかった情報を API として提供することにより、リリース以降、プロップファーム、投資助言事業者、取引ツール開発業者、ロボアドバイザー運営業者、ゲーム開発業者まで様々な業態の事業者様に活用いただいております。



2018 年 8 月 7 日より API の基盤をクラウド上に刷新し、新しい API 基盤では OAuth2.0 認証方式によるセキュリティ強化を実現しました。また、有力サードパーティ事業者に開発段階より参画いただくことで、ユーザーニーズの洗い出しと、より活用しやすい API となるべく改良を行い、AWS 上にスケーラブルなシステム基盤の構築をいたしました。

kabu.com API 活用による証券システムにおけるバリューチェーンのアンバンドリング化により、サードパーティは証券基幹システムに属する部分(複雑な金融法令諸規則に基づく顧客プロパティ管理、勘定系の余力計算、銘柄管理、情報配信基盤、有価証券と金銭の受渡処理等)は当社の基盤を利用しつつ、UX(ユーザーエクスペリエンス)やサービスアイデア等のフロントレイヤー部分にリソースを集中することが出来るため、高度な金融サービスをスピーディに開発・提供していくことが可能となります。

自社システムの API 開放は、特に、金融サービスの利用者ニーズが多様化する中、伝統的な金融機関が知見を持たない新しい技術領域である AI(人工知能)、自然言語処理、ディープラーニング、ブロックチェーン、画像解析等様々な先端技術に強みを持つ Fintech スタートアップ等とのスピーディな提携・事業化の必要性に応えてゆきます。

今後は、kabu.com API のさらなる活用で資産運用サービス全体の高付加価値化と、次世代の金融システムを創造して参ります。

わたしたちは  MUFG です。

証券投資に関する手数料等およびリスクについて

●証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

●各商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ (<https://kabu.com/cost/>) 等をご参照ください。

＜現物株式取引(プチ株®含む)に関するご注意事項＞

・株式は、元本や利益を保証するものではありません。株式は、金利の変動、為替の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。

・現物株式の手数料の概要は次のとおりです。

＜現物株式＞最大 3,690 円(税抜)(お電話での注文は、自動音声応答:100 円(税抜)、オペレーター経由:2,000 円(税抜)が別途加算)

＜プチ株®＞約定金額×0.5%(最低手数料 48 円)(税抜)(お電話での注文は、オペレーター経由:2,000 円(税抜)が別途加算)

●掲載情報は 2018 年 10 月 15 日現在のものです。詳細及び最新情報は当社ホームページ(<https://kabu.com/>)にてご確認ください。

●お問い合わせ・ご相談・苦情等

お客様サポートセンター フリーコール 0120-390-390

※携帯・PHS・050 で始まる IP 電話からは 03-6688-8888 (※通話料は有料になります)

●苦情について当社以外の窓口

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター フリーダイヤル 0120-64-5005

【金融商品取引業者登録:関東財務局長(金商)第 61 号】

【銀行代理業許可:関東財務局長(銀代)第 8 号】

【加入協会:日本証券業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会】

＜本件に関する報道関係からのお問い合わせ先＞

担当:経営管理部 広報担当 佐賀 幸介 TEL:03-3551-5111

わたしたちは  MUFG です。